

堀 義貴(ほり・よしたか)先生

株式会社ホリプロ 代表取締役会長兼社長

1966年6月20日生まれ、東京都出身、O型
1989年3月 成蹊大学 法学部政治学科卒業
1989年4月 株式会社ニッポン放送 入社
1993年4月 株式会社ニッポン放送 退社
1993年6月 株式会社ホリプロ 入社
1996年6月 取締役メディア事業本部制作四部部长 就任
1997年9月 東証二部上場
1997年10月 取締役制作・宣伝事業担当
(ホリプロの宣伝全般、音楽原盤制作、レーベル業務を統括)
1999年6月 取締役プロダクション・制作・宣伝事業担当
(マネージメント部門、ファンクラブも併せて担当)
2000年6月 常務取締役 就任(プロダクション・制作・宣伝事業担当)
2002年6月 代表取締役社長 COO 執行役員 就任(宣伝本部 兼音楽事業部 兼エデュテイメント&HIA担当)
2002年9月 東証一部上場 2004年4月 代表取締役社長 COO
2008年6月 代表取締役会長兼社長 CEO (現在)
【参考になるHP】 www.horipro.co.jp



《講義概要》

総合エンタテインメント企業である株式会社ホリプロの代表取締役会長兼社長として、業界をリードする堀義貴氏が、Web時代のアーティスト・マネジメントについて講義を行った。

講義ではまず、さまざまな事業を複合的に展開するホリプロの事業について映像を流しながら紹介し、幅広い業績と総合エンタテインメント企業としての経営方針を説明した。

その後、Web時代において、ネットを活用して海外へ向けて日本のエンタテインメントを発信していくことの重要性について具体的に解説し、エンタテインメント産業を牽引するホリプロの考え方や戦略を示した。またその中で、Web時代のグローバル化に伴い、語学力を身に付けることや自国・他国の文化や歴史を知ることの重要性を学生に訴えた。学生は世界を意識した広い視野で学ぶことの大切さを実感した。

最後に、「世界を視野に入れ、何十年か先に何が起きているか想像をして活動をするのが大切である」など、急速に発展し続けるWeb時代の就職活動について重要な考えを伝えた。

《受講生の感想》

●Web 時代のマネジメントについて、現状を知ることができて勉強になりました。新しい事業についても独創的で興味深いものが多く、色々な新しいものに挑戦される姿勢にすごく惹かれました。就活についての実的なお話なども聴くことができ、今後の活動の参考になりました。とても興味深いご講義をありがとうございました。

立命館大学・産業社会学部・1回生

●現代のような Web が力を持つ時代においてアーティストのマネジメントにも Web の利用は欠かせないものになってきていることが分かりました。ネット時代の到来によりCDの売上が落ち込むなど様々な問題が浮かび上がってきていますが、アーティストのマネジメントにおいてネットは大いに利用すべきものであり、利用の仕方によっては今まで以上に結果の出せるものではないかと感じました。

立命館大学・産業社会学部・2回生

●エンタテインメント産業やマネジメントについてとても興味があるので、堀先生のお話は大変勉強になりました。テレビ、舞台、ライブ、音楽、CM、小売産業、お笑いなどを幅広く手掛けることでリスクヘッジをしていると聞き、なるほどと思いました。

立命館大学・産業社会学部・1回生

●私が最も興味を持ったのは、ホリプロの利益は一人だけのアーティストには頼らないということでした。どれだけ売れているアーティストがいても、その人の売上がホリプロ全体の売上の 25%を越えないようにするという方法は凄いなと思いました。目先のことだけではなく将来を見据えているからこそできる判断だと思いました。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●YouTube やニコ動に対しては批判的な姿勢をとっておられるというイメージがあったのですが、逆にそれらを利用して海外へ出て行くことを狙っているということが意外でした。動画共有サイトの発展はもう見過ごせないほどの人気と勢いがあると思うので、それらを肯定的にとらえて利用していくのはとても有効だと思いました。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●日本の文化が広く世界に浸透していることに多くの日本人が知らない現状があると仰っていたことがとても心に残りました。これから人に説明できるくらい一つの物事について細かい知識を身に付けていこうと強く感じました。また、就活における面接のコツについての話はとても勉強になりました。

立命館大学・産業社会学部・1回生

